

拝啓 小雪の候、皆様方には益々のご健勝の段大慶に存じ上げます。  
平素は、当神社の事に關しまして、多大なるご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、秋葉社大祭（鎮火祭）を左記の通りに斎行いたしますので、公私共にご多忙中とは存じますが、  
何卒ご参列下さいますようお願い申し上げます。  
尚、祭典終了後に総代会を開催致しますので、ご出席下さいますようお願い申し上げます。

敬具

令和三年十一月吉日

朝 日 神 社  
宮 司 武 田 正 典

総 代 各 位

記

- 一、日 時 令和三年十二月十六日（木）午後一時三十分より
- 一、場 所 朝日神社末社秋葉社において
- 一、総代会 節分厄除祭等について協議予定

以 上

## 【広小路の起こり】

万治三年（一六六〇）に、城下町碁盤割りの殆どが烏有に帰し、武家屋敷にも類焼する大火がありました。

このため、防火帯として道路が拡張されて出来たのが、今の広小路通であります。

同時に、遠州の秋葉神社よりご分霊を勧請し、城下町の火防の神として当社に祀ったのが、始まりと言われています。

それ以来、そのご神威は厚く「広小路の秋葉さん」として世に知られ、江戸時代の祭りの番付表には、前頭数枚目に記載されていることから、如何に広く信仰を集めていたことが伺いしる事が出来ます。